

ネットワーク接続 と UPnP のトラブルシューティング

概要

UPnPクライアントであるNP30は、ネットワーク上のUPnP対応のAVサーバーに接続し、それらの音楽コンテンツをブラウズし再生することができます。

サーバー上の音楽コンテンツにアクセスするためには、NP30がサーバーに接続できるように設定するだけで、インターネットへの接続はNP30には特に必要ありません。

- ※ UPnPとは家庭内のパソコンや周辺機器、AV機器、電話、家電製品などの機器を、ネットワークを通じて接続して相互に機能を提供しあうための技術仕様です
- ※ 「ストリーミング」とは、動画や音楽などのメディアをネットワーク経由でリアルタイムに配信することです。コンピューター（大元になるストリーミングサーバ）は、別のコンピューター（クライアントコンピューター）にメディアを送信します。クライアントコンピューターは、そのメディアを受信しながら再生します。

ほとんどのOSや音楽再生のソフトウェアはUPnPサーバー機能が内蔵されています。

このUPnPを利用することにより、パソコンのハードディスク等に保存された音楽ファイルを、NP30のようなUPnPクライアントと共有することができます。

ネットワーク上にあるあなたのパソコンや、別のパソコンの共有フォルダ、またNASドライブ（Network-Attached Storage）にある音楽データが、あなたの音楽ライブラリとしてデジタル音源を保存しておく事が可能です。

UPnPを利用する事で、NP30はこれらのデバイスに接続して保存された音楽ファイルにアクセスし、ネットワーク経由でストリーミングする事で音楽再生を可能にします。

多くのNASドライブには、それ自身にUPnPサーバーが組み込まれており、様々なコンテンツを保存し、自動で配信することが可能ですので、使用しているパソコン等の電源をOnにする必要がありません。

UPnPサーバーに接続すると、実質的にサーバーが何のコンテンツであるかを読み取り、そしてフォルダに分類します。例を挙げると、UPnPサーバーはアルバムやアーティストやジャンルをメニュー表示します。

注意:

もしネットワーク上のコンピューターやNASの電源がOffになっていたりスタンバイモードの際は、コンピューターやNASの音楽フォルダは、再び電源On状態になるまで、NP30に表示されなくなります。

トラブルシューティングガイド

もしNP30のネットワークの接続に問題がある場合、下記のステップは問題解決に役立ちます。

※ここでのネットワークのセットアップは幅広いコンピューターの知識を必要としますので、設定する前に、ご購入の販売店様や有識者にご相談下さい。

1. 同じネットワーク上に接続したPCがインターネットにアクセス出来るか確認して下さい。
2. DHCPサーバーが利用できるか確認して下さい。
またネットワークプレーヤー(NP30)上で、固定IPアドレスが設定されていないか確認してください。
「IPアドレスを自動的に取得する」(Auto DHCP)に設定する事が推奨の設定となりますが、固定IPアドレスの設定も可能です。
ケンブリッジネットワークプレーヤー(NP30)に固定IPアドレスを設定するには
Settings(設定) → Network Config → Edit Config、の Auto(DHCP) を NO に変更してください
※ パソコン設定変更⇒Windows XP での例:
マイネットワーク(右クリックでプロパティを選択) → ローカルエリア接続(右クリックでプロパティを選択) → インターネットプロトコル(TCP/IP)(左ダブルクリック) → 次のIPアドレス から設定を行って下さい。
(また「次のIPアドレスを使う」でIPアドレスを指定した際、「次のDNSサーバーを使う」のDNSサーバーも設定しないと、インターネット接続が出来ません。)
3. あなたのネットワーク 上にある「ファイアウォールの設定」で、送信ポートを開ける設定にして下さい。
ファイアウォールは、コンピューターやルーター上で動作しており、ネットワークを流れるデータを常に監視し、ルールに従ってデータ送受信の許可またはブロックしています。
またファイアウォールはプライベート情報の流出や、ネットワークに悪影響を及ぼすファイル等がネットワークに入ってくる様にゲート(門)の様な働きをしています。
4. NP30は、UPD と TCP のポート番号 80、554、1755、5000、6000、7070 を利用してアクセスします。
ルーターのファイアウォール設定やコンピューター上のファイアウォールソフトの設定を確認してみてください。
パソコン設定変更⇒Windows XP での例:
設定方法はコントロールパネルから、Windowsファイアウォール → 例外タブ → ポートの追加 → 名前とUPDとTCPに上記のポート番号を入力して下さい。
5. アクセスポイントが特定のMACアドレスに対して接続を制限していないかチェックして下さい。
ケンブリッジオーディオネットワークプレーヤー(NP30)本体の設定画面で、
Settings(設定) → Network Config → View Config、そしてMAC address、 のメニューから、ネットワークプレーヤー(NP30)本体のMAC addressを確認する事ができます。

もしUPnP再生が問題がある場合、下記に従ってチェックを行って下さい。

- － 選択されたUPnPサーバーのソフトウェア(Windows Media Player等)が、ケンブリッジオーディオのネットワークプレーヤーで再生しようとしているファイル(WAV、FLAC等)に対応しているか確認して下さい。
Windows Media Player等のいくつかのサーバーはFLACに対応していません。
- － ケンブリッジオーディオ・ネットワークプレーヤー(NP30)は、DRM(著作権保護ファイル)ファイルは再生出来ません。 DRMのコントロールが入ったファイルは再生不可となっております。
サーバーによってはコピーコントロールの入ったファイルを保存出来ますが、ケンブリッジオーディオのネットワークプレーヤーが再生可能かどうかは保証出来ません。
- － WAVやFLACの24bitの高解像度音楽ファイルは、無線LAN(Ethernet)接続で再生する場合、音飛びの原因になります。 有線LAN接続を推奨します。 ※現在、無線LAN機能は使用不可。
- － NP30が再生可能なファイルの種類は、WMA、AAC、MP3、Vorbis、FLAC、WAVのとなっております。
ALAC(Apple Lossless)、WMA Pro、WMA lossless、RAW、AUやその他のファイルはサポートしません。